

# なんケア通信

## 第16回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：平成30年8月17日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：51名(介護事業所関係者 27名、調剤薬局 1名、御野場病院職員 22名、福祉用具事業所1名)

メインテーマ：地域包括ケアシステム実現を目指した地域で暮らせる街づくり

サブテーマ：知っておきたい！

在宅と医療をつなぐ「地域包括ケア病棟」と「訪問診療」の仕組み



1. 「訪問診療」 御野場病院 外来看護師 鈴木美佳 様
2. 「地域包括ケア病棟」 地域包括ケアシステムにおける医療機関の役割  
御野場病院 医療社会事業課 医療相談員 石垣淳史 様
3. 「訪問診療と地域包括ケア病棟」 医療政策による誘導  
御野場病院 理事長 皆河崇志 様

平成30年8月17日(金)に「第16回なんケアの会」を開催致しました。

今回から「地域包括ケアシステム実現を目指した地域で暮らせる街づくり」をメインテーマに、3回にわたって開催して参ります。

本日のテーマは「知っておきたい！在宅と医療をつなぐ『地域包括ケア病棟』と『訪問診療』の仕組み」です。介護関係者並びに医療関係者・その他多職種の方々にとって関心の高い内容であり、多数のご参加を頂きました。

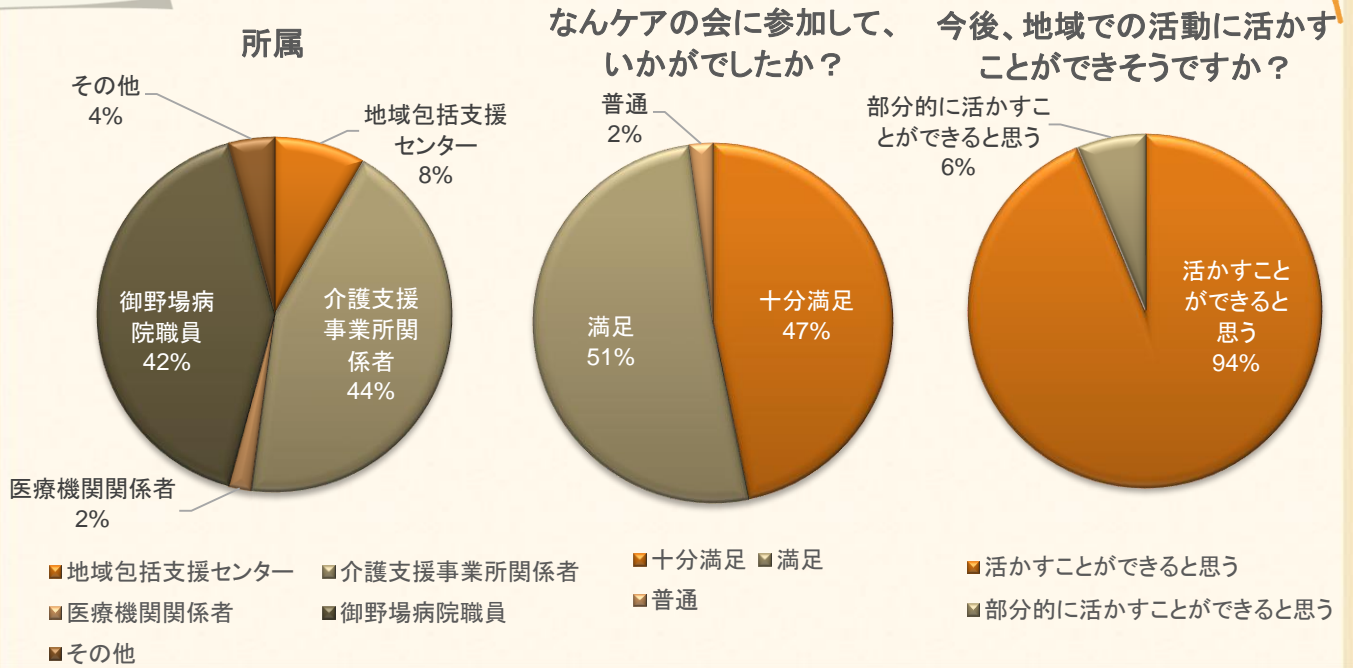
「訪問診療」「地域包括ケア病棟」に関して、当院外来看護師の鈴木と医療相談員石垣が講演を担当しました。訪問診療の対象者、往診との違い、訪問できる場所、訪問診療ではどのようなことをするのか、訪問診療・地域包括ケア病棟入院の依頼方法、地域包括ケア病棟入院の対象、入院の限度日数、など実際に利用するにあたり必要な情報を詳しく説明して頂きました。

「訪問診療と地域包括ケア病棟～医療政策による誘導～」に関しては、当院理事長の皆河医師が講演を担当しました。中小病院は、地域包括ケアの一翼を担う存在として、訪問診療を行い、後方病床(地域包括ケア病床)の確保に努める役割も求められていること。国は、訪問診療と往診の対象を厳格化しており、ショートステイへ出向いての診療は難しい状況にあること。など、医療政策の現状についてわかりやすく示して頂きました。

超高齢化社会の最先端とも云われている秋田においては、老老介護、認認介護、超高齢独居などの問題を抱えており、最期まで地域で暮らすことが簡単ではありません。今回の講演会により、訪問診療や地域包括ケア病棟の仕組みを効果的に利用することも、高齢者の皆様を支えていくための一つの方法である事が理解できました。

次回は「訪問歯科診療」について、旭北歯科医院の千葉利昭先生からご講演していただく予定です。引き続きのご参加をお待ちしております。

アンケートの  
集計結果



回収率：94.1% (アンケート配布：51名、回収：48名)

会場の様子



皆様からの  
ご意見・ご感想

具体的に示していただき、大変参考になりました。ありがとうございました。

地域包括支援センター

日頃、外来看護師様や医療相談室の方々に相談することがあり、いつでもいねいに対応して下さいありがとうございます。今後お願い申し上げます。

介護支援事業所関係者

とてもわかりやすく勉強になりました。ありがとうございました。

地域包括支援センター

次回開催の  
お知らせ

開催日時：平成30年10月5日 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

